

3 ハルダン伯爵の娘

ハルダン伯爵の娘が
海^{かなた}の彼方を見つめていた
大海原^{かなた}の遥か彼方を
それから ひとしきり高笑い
「六人の王女たちの髪の毛を
結婚^{みつ}の貢ぎ物に納めてもらうわ
どんぶらこ 高貴なお船よ どんぶらこ
求愛^{どこ}にやって来るのは何処のどなた」
5

ハルダン伯爵の娘が
浜辺を歩いていると
高貴^{みなり}な衣装の騎士をのせた船が
こちらに向かってやって来る
帆はすべてベルベット
マストは金箔
「どんぶらこ 高貴なお船が どんぶらこ
ずうずう^{どこ}しくもやって来たのは何処のどなた」
10
15

「五人の王女たちの髪^{たば}の束
海の向こうで 手に入れました
あなた様のマントの房飾りにと
金髪を切りそろえて参りました
でもまだひと束^{たば} 足りません
話を仕上げるために もうひと握り
どんぶらこ 高貴なお船が どんぶらこ
ベルベットの帆を巻き上げろ」
20

騎士はどぼんと海の中
恐れを知らぬ流浪^{るろう}の若者
ハルダン伯爵の娘を捕まえ
金髪ひと束^{たば} 切り取った
「傲慢な娘よ いついつまでも泣くがいい
これで話は完結だ
どんぶらこ 高貴なお船が どんぶらこ
25
30

西に向かって さあ 船出」

(山中光義訳)